



毎年12月4日から同月10日までの1週間は「人権週間」でした。

12月2日(月)の朝礼で、今年度のスリーハート運動標語の発表と表彰を行いました。多数のご応募をいただき、ありがとうございました。次の3点が選ばれました。地域内の店舗や公共施設にも掲示していただきます。

挨拶が 地域の安全 第一歩 (保護者)

「いいね😊」しよ 相手のいいところ 見つけたら (高学年)

おはようは、 みんな楽しく、
げんきよく。 (低学年)

人権講話として、子どもたちには、右の詩を紹介してから、次のような話をしました。

毎日、何気なく使う、一秒にも満たない短い言葉。人は、その言葉に心を感じ、気持ちを込めて、伝えています。一秒にも満たない短い言葉に、人は、自分や相手の心や思いを感じます。

言葉と心は、つながっています。あたたかい言葉は、あたたかい心のあらわれです。やさしい言葉は、やさしい心のあらわれです。美しい言葉は、美しい心のあらわれです。冷たい言葉は、冷たい心のあらわれです。みにくい言葉は、みにくい心のあらわれです。

言葉を大切にすることは、心を大切にすることです。あたたかい言葉、やさしい言葉、美しい言葉を使うように心がけましょう。そうすれば、きっと、みんなが気持ちよく過ごすことができると思います。

人をいじめたり、人のいやがることをしたりすることがない、お互いに認め合える、お互いに信頼し合えるクラス、学年、通学団、学校にしていきたいと思います。

12月4日(水)には、人権学習会(4～6年生)を行いました。動物写真家の小原玲さん

『一秒の言葉』 小泉 吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、
一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」
この一秒ほどの短い言葉に、
人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」
この一秒ほどの短い言葉で、
勇気がよみがえってくることがある。

「おめでとう」
この一秒ほどの短い言葉で、
幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」
この一秒ほどの短い言葉に、
人の弱さを見ることがある。

「さようなら」
この一秒ほどの短い言葉が、
一生の別れになるときがある。
一秒に喜び、一秒に泣く。
一生懸命、一秒。
人は生きる。

をお迎えして、小原さんの撮られたアザラシや蛍などのすばらしい写真を見せていただきながら、小原さんの様々な体験を通した思いや願いを聞かせていただきました。

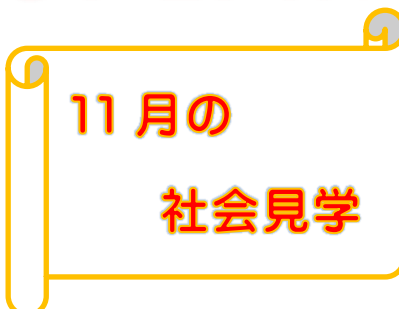
まもなく冬休みを迎えます。西小の子どもたちが、ご家庭や地域で有意義な時間を過ごせますように願っております。よいお年をお迎えください。



にしっこアルバム



1年『名古屋港水族館』



2年『名古屋港水族館』



4年『アクアトトぎふ』



5年『鈴鹿サーキット』



6年『リトルワールド』



5年『就学時健康診断』



4年『ドリームマップ作り』



2年『甚目寺公民館訪問』



6年『小中交流
中学校の先生による出前授業』



5年『中日新聞出前授業』